

第82回精神保健シンポジウム



ゲーム・スマホ・SNSと どう向き合う？



健全ゲーミングと心の健康を考える



日時

2026年10月12日（月・祝）

14:00-17:00



会場

TKP神田ビジネスセンター

〒101-0053 東京都千代田区神田美土代町3-2
神田アベビル 401

🚶 淡路町駅・小川町駅・新御茶ノ水駅B6出口徒歩3分

🚶 神田駅(JR北口/銀座線4番出口)徒歩6分

会費

無料・事前登録制



事前登録はこちら

特別講演

日本eスポーツ連合

羽染 貴秀

ゲーム・スマホ・SNSは、私たちの生活に身近なものとなっています。一律に否定や禁止をするのではなく、こころの健康や睡眠、生活習慣、学業や仕事といった社会生活とのバランスを大切にしながら、上手な付き合い方を考えます。eスポーツ、家族支援、教育、医療・研究の立場から、楽しさや価値とともに、気をつけたいサインや予防、支援のあり方を多面的に見つめます。

シンポジウム

座長

治徳 大介 東京科学大学 サイバー精神医学講座
佐々木 祥乃 東京科学大学 精神行動医科学分野

さらに…

スペシャルゲスト登場！？…かも



北里大学メディカルセンター 一般社団法人 ネット・ゲーム
精神科・スポーツドクター

山本 宏明



黒田 沙希子



放送大学 教授

中川 一史



東京科学大学
サイバー精神医学講座 助教

小林 七彩



主催：公益財団法人日本精神衛生会/東京科学大学精神行動医科学分野

後援：日本スポーツ精神医学会・東京都教育委員会

出演者略歴



羽染 貴秀 一般社団法人日本eスポーツ協会 ディレクター

1991年神奈川県生まれ。大学在学中、サッカーゲーム「FIFA（現：EA SPORTS FC）」で世界大会に出場し、2012年・2015年には「Red Bull 5G」で優勝。大学卒業後、日本eスポーツ協会に入職し、現在に至る。2018年・2022年・2026年のアジア競技大会では、eスポーツ日本代表のチームリーダーとして選手団の統括を担当。現在は一児の父として子育てにも奮闘中。



山本 宏明 北里大学メディカルセンター精神科・スポーツドクター

北里大学医学部精神科学講師、北里大学メディカルセンター精神科副部長。日本精神神経学会専門医、精神保健指定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター。2002年北里大学医学部卒業。2007年北里大学病院に「スポーツメンタル外来」を開設しアスリートの診療を開始。2021年より日本eスポーツ協会医事委員会委員長。愛知・名古屋2026アジア競技大会ではeスポーツ競技日本代表チームドクターを務める。



黒田 沙希子 一般社団法人ネット・ゲーム依存家族の会 代表理事

ASK依存症予防教育アドバイザー。家族の依存症問題にかかわる中で、同じ悩み・経験を抱えたメンバーとともに2019年6月から「ネット・ゲーム依存家族の会」を立ち上げ、2021年10月に法人化。日常では一児の母として会社員をする傍ら、家族会のメンバーとともに相談支援活動を行っている。



中川 一史 放送大学 教授

放送大学教授、博士（情報学）。AI時代の教育学会会長、日本STEM教育学会副会長。中央教育審議会初等中等教育分科会デジタル学習基盤特別委員会委員・同デジタル教科書推進ワーキンググループ主査代理、子ども家庭庁「青少年インターネット環境の整備等に関する検討会」座長代理、文部科学省リーディングDXアドバイザー等を務める。D-project一般社団法人デジタル表現研究会会長、光村図書小学校国語教科書編集委員。



小林 七彩 東京科学大学 サイバー精神医学講座 助教

東京科学大学 精神行動医科学分野／サイバー精神医学講座 ジョイントリサーチ講座助教。「デジタルの光と影」をテーマに、ゲーム行動症・問題的インターネット使用・スマホの過剰使用やデジタル療法を専門とし、AIを活用した当事者支援チャットbotや家族支援プログラムの研究開発に取り組む。WOMAN AI AWARD 2026 ソーシャルインパクト賞受賞。